

日本の織物・工芸品業界を支えたい！ 産地×産地「日本の織物ネクタイ 藍染」

「日本の織物ネクタイ 藍染」が
東京インターナショナルギフトショー秋 2020

第8回LIFE×DESIGN アワード グランプリ受賞！！



株式会社キャリアコンサルティング（代表取締役：室館勲）は、第90回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2020に、「これいい和」を出展いたしました。

数ある商品の中で、「日本の織物ネクタイ 藍染」が、『第8回LIFE×DESIGNアワード』でグランプリを受賞いたしました。建築やインテリア、流通、メディアなど、プロの来場バイヤーの投票結果をもとに、有力小売バイヤーや専門家による審査により選ばれるコンテストです。

※読者プレゼント等が必要な場合は別途ご相談いただければ幸いです。（数に限りがございます。ご容赦ください）

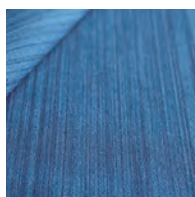
■日本の織物ネクタイ 藍染とは

武州正藍染×日本各地の織物、第一弾となる、日本の織物ネクタイ 藍染。

大剣は武州正藍染、日本を代表するジャパンプルーの藍染です。それを裏で支える小剣は、日本各地の伝統の織物。日本を象徴する藍染と、日本各地の織物を使った、産地×産地の夢のコラボレーションです。今後、47都道府県の織物を使用したネクタイを展開していく予定です。昇進祝いや誕生祝い等、大切な節目の贈り物にいかがでしょうか？

また、藍染は「色移りが気になる」というお声も頂くことがありました。首や胸などシャツに当たる部分を織物にすることでその心配を解消しています。

※藍染生地は水濡れにより、色移りをする可能性がございます。お取り扱いにはご注意ください。



POINT① 武州正藍染と青縞

江戸時代中期、北埼玉の一大産業となった武州正藍染。「青縞」という、芯まで染めた糸の表面に残る、かすかなムラやかすがれが、無地の中であたたかみのある縞柄に見えるのが特徴です。使うほどに変化する色合いを楽しめます。

POINT② 日本各地の織物

各産地で生まれ、連続と受け継がれてきた織物には伝統技術が詰まっています。しかし、新型コロナウイルスの影響でアパレルメーカーが苦戦し、厳しい境地に立たされる織物工房も少なくありません。日本の工芸品業界を支えたいという想いを込めて、このネクタイを世に送り出します。



渋沢 栄一

POINT③ 日本人に愛されるジャパンプルー

源平の合戦に勝利した源氏側の武将が身につけていた武具の藍。ヨーロッパの画家に衝撃を与えた葛飾北斎の藍。サッカー日本代表「サムライブルー」の藍。そして江戸時代、武州に生まれ育ち、のちに日本資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一のビジネスのルーツは染料「藍玉」の売買でした。



播州織（兵庫県）

先染めによる豊かな色彩と良い肌触り。特徴的なよろけ織がスタイリッシュです。



西陣織（京都府）

華やかなデザインで、海外でも人気の西陣織。絶妙な存在感を放ちます。



会津木綿（福島県）

厚みがありふっくらとした質感。生地にしっかりと空気を含み、保温に優れ実用的。

■お問い合わせ

株式会社キャリアコンサルティング
東京都千代田区神田神保町3-19-1 九段インテリジェントビル
Tel: 03-5214-6380 / Fax: 03-5214-6383 担当:政木

